

投資家の皆様へ

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

The graphic features two gold bars at the top, each embossed with 'JAPAN GOLD FUND'. Below them is a red oval containing a map of Japan and the word 'Gold'. A gold ribbon banner wraps around the oval. The main title 'ジャパン・ゴールドファンド' is in large gold characters, with '(ブル2倍型/ベア2倍型/マネー)' in smaller text below it. At the bottom, three lines of text describe the fund types: '【ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)】追加型投信/国内/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)', '【ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)】追加型投信/国内/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)', and '【ジャパン・ゴールドファンド(マネー)】追加型投信/国内/債券'.

【当資料のお取扱いにおけるご注意】

当資料は、ITCインベストメント・パートナーズ株式会社により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。当資料は、信頼できると判断される情報に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。当ファンドの受益権の価額(基準価額)は、当ファンドに組入れられている有価証券や商品先物等の値動きによる影響を受けます。したがって投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

目論見書のご請求・お申込みは・・・

大和証券

Daiwa Securities

〔販売会社〕

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会

社団法人 日本証券投資顧問業協会

社団法人 金融先物取引業協会

設定・運用は・・・



ITC インベストメント・パートナーズ株式会社

〔委託会社〕

商号等

ITCインベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

加入協会

社団法人 投資信託協会

社団法人 日本証券投資顧問業協会

2010年1月作成

金とは



- 金は、地上に存在する総量が16.3万トン※の希少な鉱物資源です。
※これは、日本の年間鉄鋼消費量の僅か0.3%程度です。
- 通貨として利用されてきた歴史から、「代替通貨」「国籍のない通貨」などと呼ばれ、安全資産として考えられています。
- 宝飾品用需要が最も多く、金地金（Gold Bar）・コイン、ETFの裏付け資産などの投資用需要が次に続き、残りが電子部品や歯科治療などの産業用需要です。

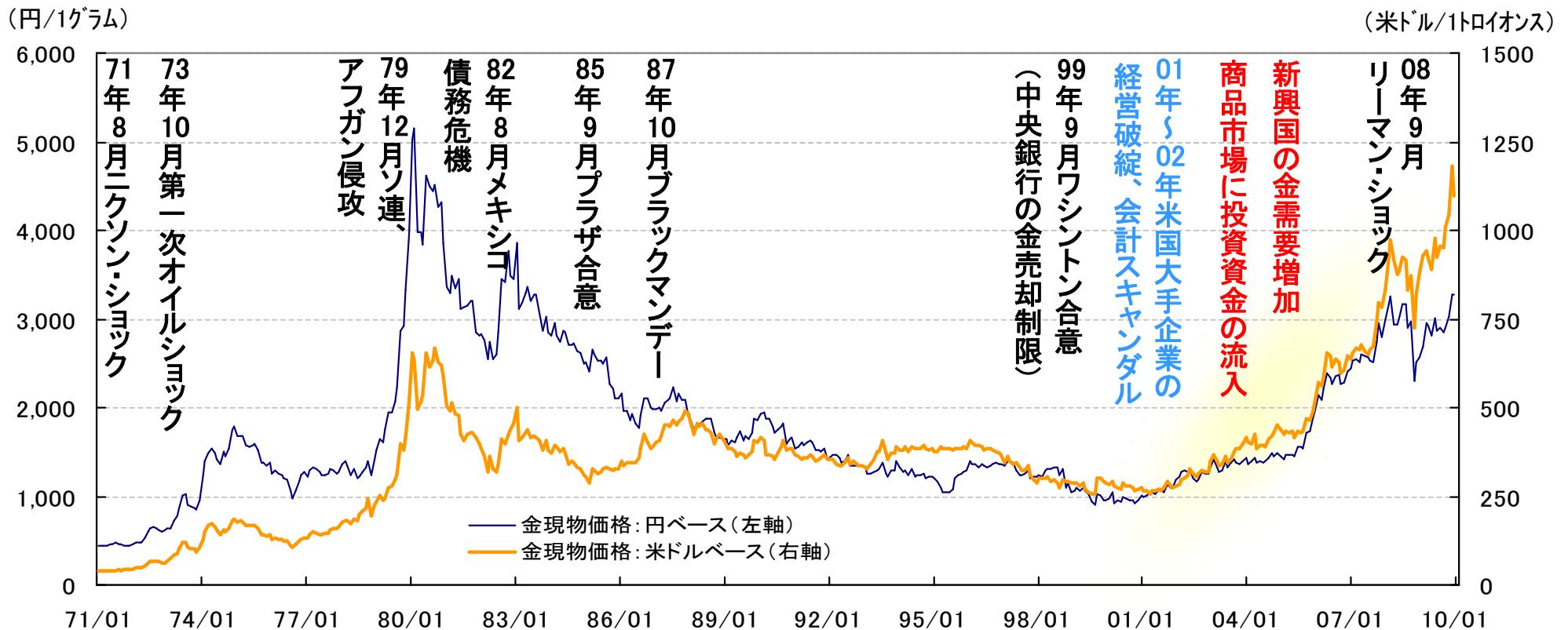


金現物価格の推移



近年の上昇の背景は、新興国の金需要増加、投資資金の流入と考えられます。

金現物価格(円ベース／米ドルベース)の推移 (1971年1月～2009年12月)



※金現物価格: 米ドルベースは、「ロコ・ロンドン」とも呼ばれるロンドン金市場で取引される1トロイオンス(約31.1035グラム)当たりの米ドル建ての金現物価格です。

※金現物価格: 円ベースは、米ドル建ての金現物価格(月末終値)に米ドル／円レート(月末終値)を乗じて1グラムあたりに換算した円建ての金現物価格です。

出所: ブルームバーグのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ作成。

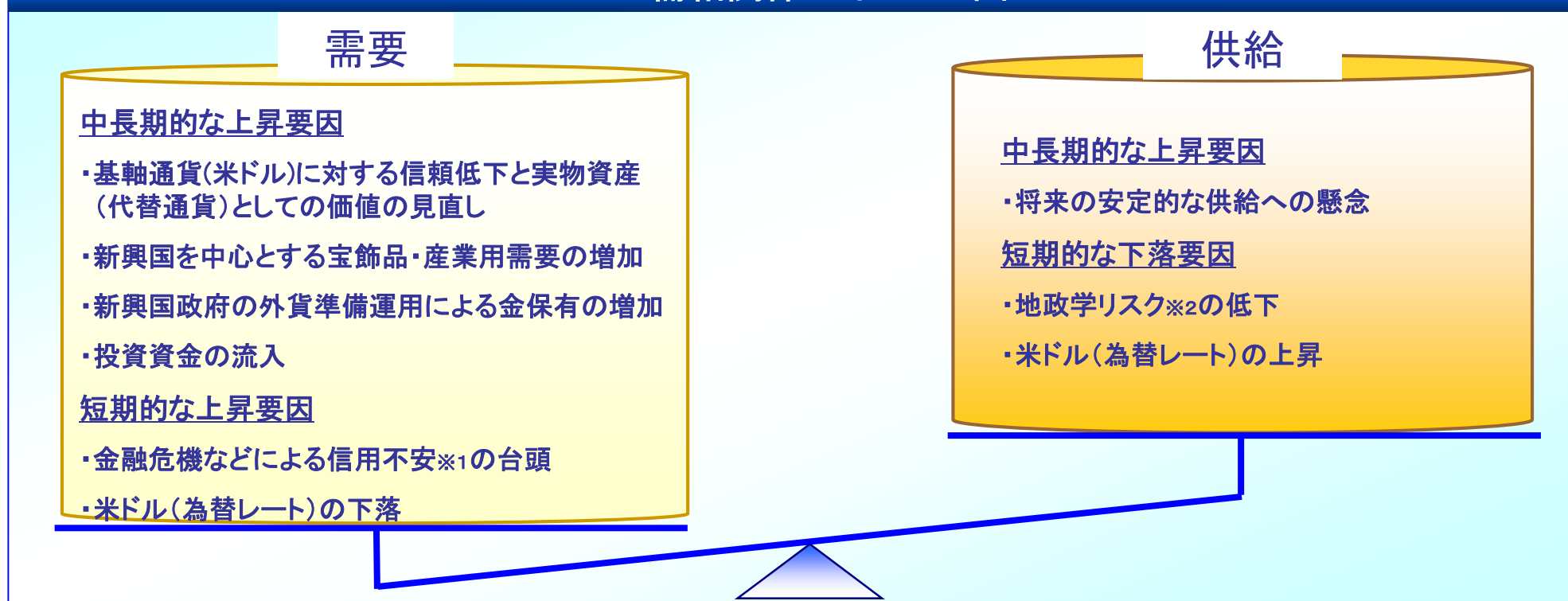
※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

金価格の主な変動要因



金価格は、需給関係などの影響により変動します。中長期的には、新興国を中心とする金需要の増加や投資資金の流入などから、上昇基調にあると考えます。

<金の需給関係のイメージ図>



※1「信用不安」……金融危機などにより信用不安が高まると、これまで株式や債券などに投資された資金は安全資産である金に向かう傾向が見られます。

※2「地政学リスク」・戦争(紛争)、テロ活動、資源国政府による金鉱山の国有化など、政治的・軍事的な背景による出来事から、金供給の先行きが不透明になるリスクのことです。

※上記は、ITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成したイメージであり、必ずしも需給の実際の大きさを示すものではなく、将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。実際の変動要因および市場動向等は上記と異なる場合があります。

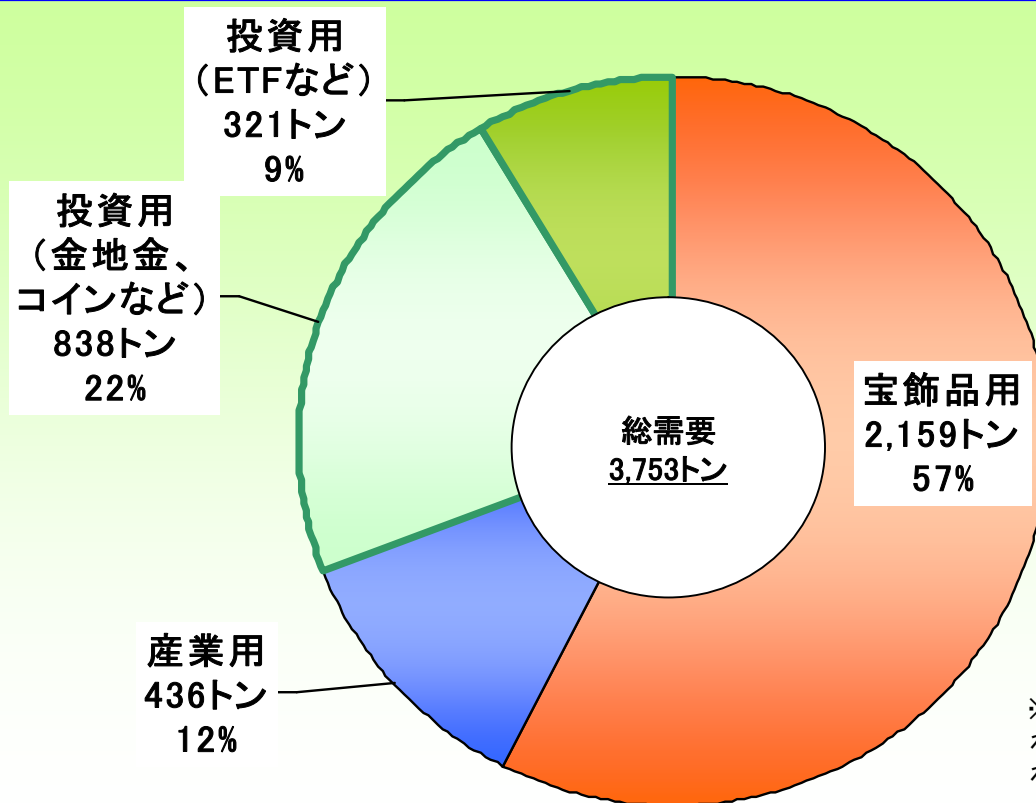
※表紙の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

セクター別の金需要



世界の金需要(2008年)合計は3,753トンでした。宝飾品が約60%を占めていますが、ETFなど新たな投資手段の普及によるセクターの多様化が見られます。

世界のセクター別金需要(2008年)



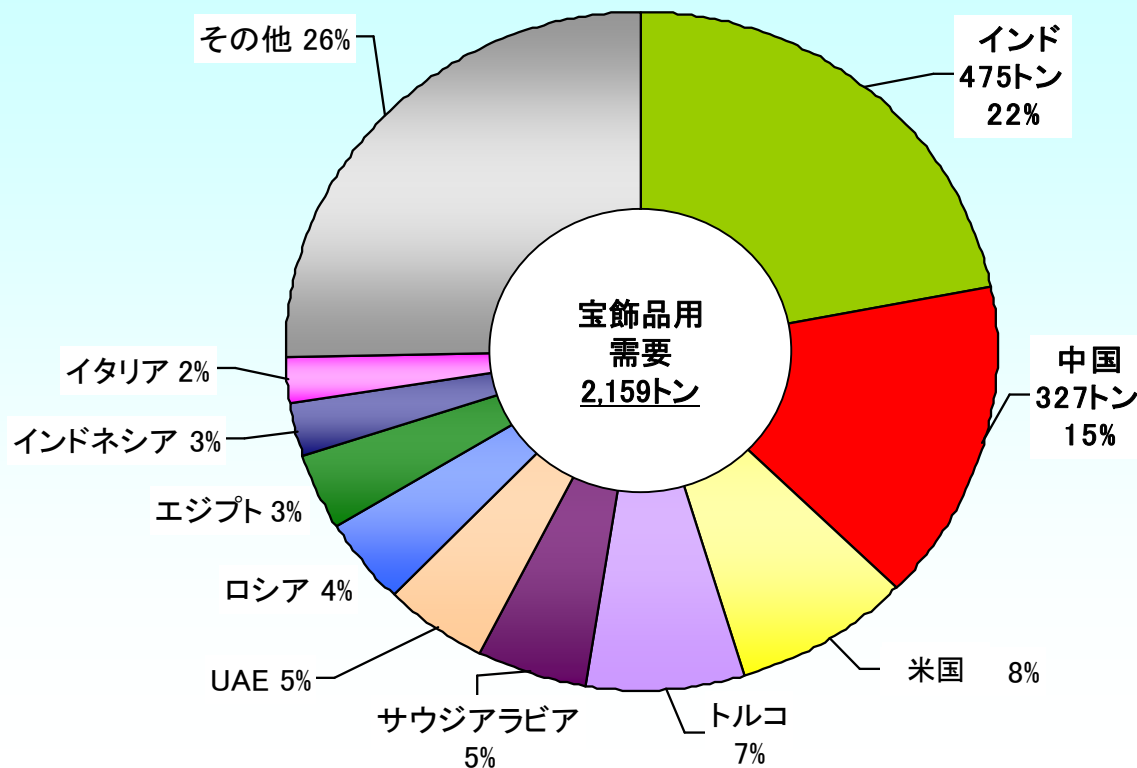
※左記の数字は四捨五入された数値として表示されている場合がありますので、合計値として表示された数値とかかる数値の総和が必ずしも一致するとは限りません。

3つの金需要① ～増加する新興国の宝飾品用需要～



宝飾品用需要第一位・二位のインド・中国では、中間層世帯が急増しており、今後も宝飾品としての需要増加が期待されます。

宝飾品用需要の国別ランキング(2008年)



出所: GFMS Gold Survey 2009のデータを基にITCインベストメント・パートナーズ作成。

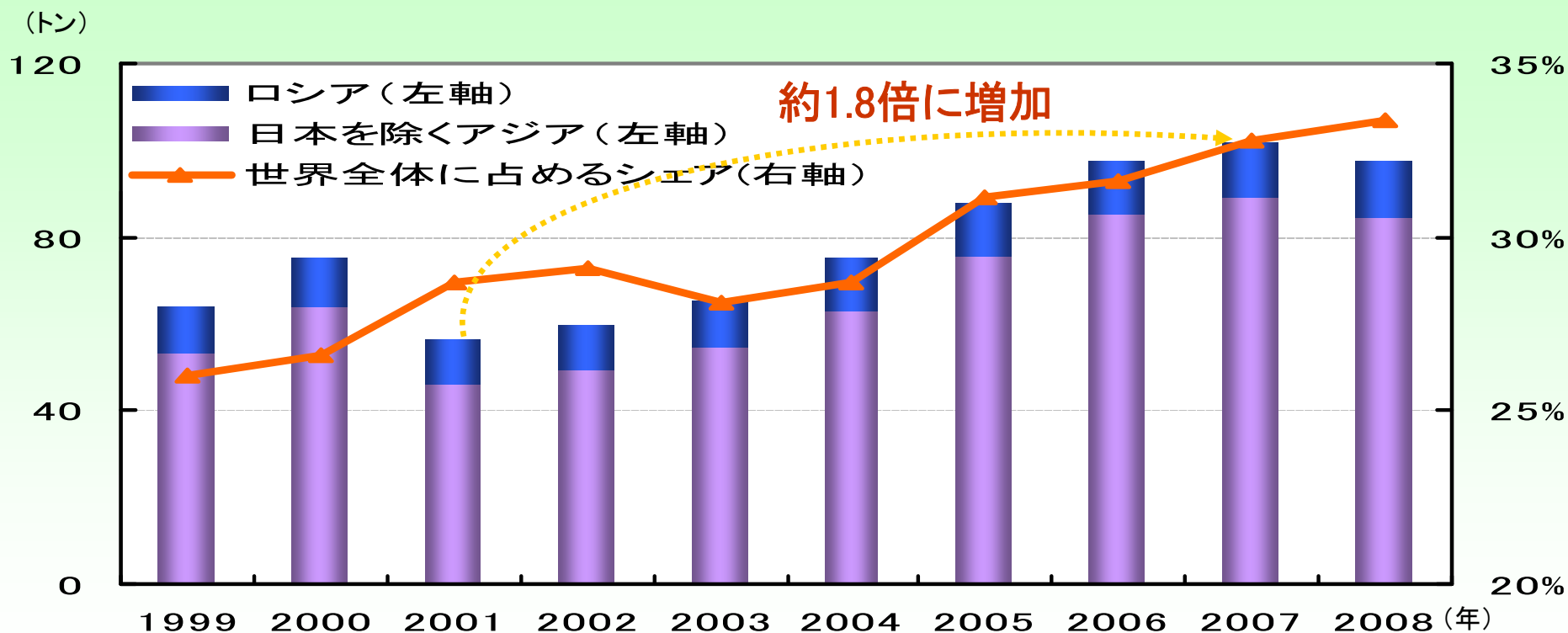
※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

3つの金需要② ～増加する新興国の産業用需要～



金は導電性に優れ、半導体などの電子部品にも使われています。携帯電話、パソコンなどの電子製品が急速に普及している新興国では、電子部品向け需要が益々高まっています。

アジア・ロシアの電子部品向け金需要の推移（1999年～2008年）



※日本を除くアジア：韓国、シンガポール、台湾、中国、インド、香港（需要が多い順）
出所：GFMS Gold Survey 2009のデータを基にITCインベストメント・パートナーズ作成。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

3つの金需要③ ～拡大する投資需要～



様々な層の投資家の間で、運用資産の一部に金を組入れる動きが広がっています。
金先物市場、金ETF市場は、投資需要の高まりと共に短期間で飛躍的に成長しています。

世界最大級の金ETF(時価総額)の推移 (2004年11月～2009年12月)



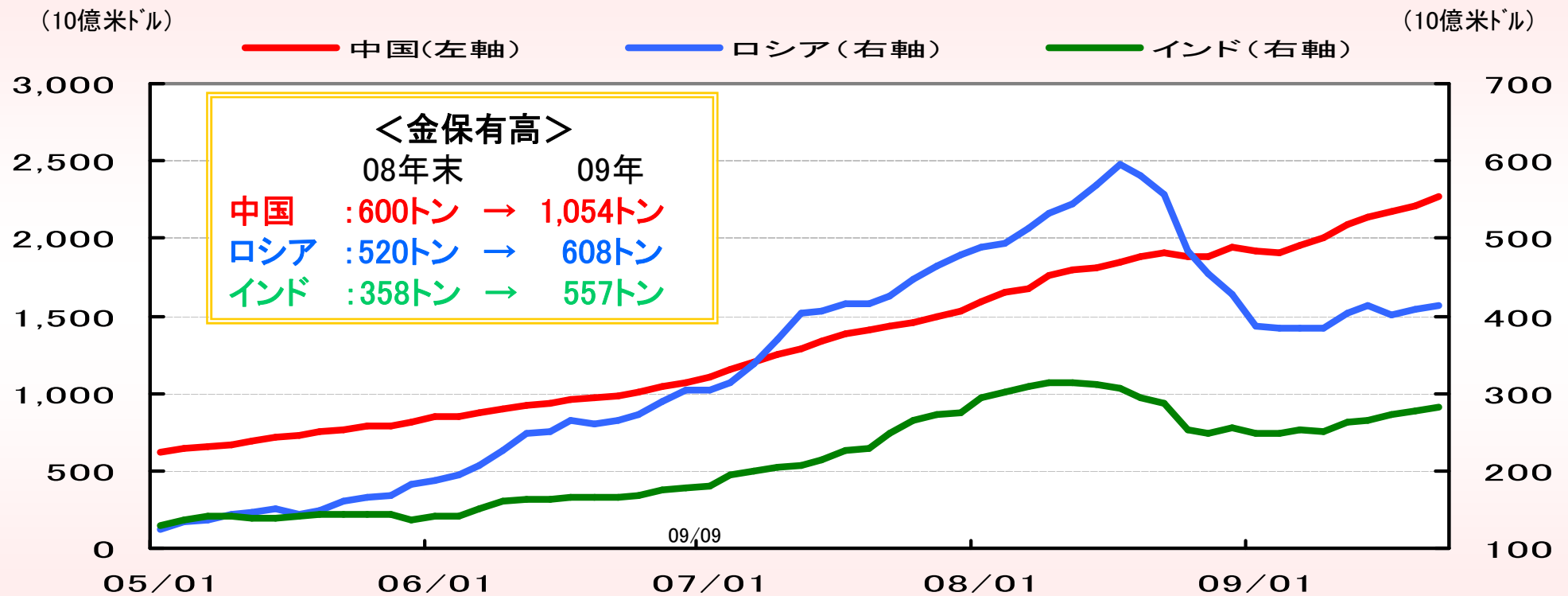
※ SPDR Gold Sharesは、日米欧の主要取引所を含む世界の複数取引所に上場している「金現物価格(ロンドン金市場)」に連動を目指す世界最大級のETF(上場投資信託)です。上記グラフは、SPDR Gold Sharesの全世界の時価総額です。

増加する新興国政府の金保有



中国・ロシア・インドでは、外貨準備の増加に伴って積極的に金保有を増やしています。
外貨準備に占める金保有比率は、欧米と比べて低く、今後も金購入余地が十分にあります。

中国・ロシア・インドの外貨準備の推移（2005年1月～2009年9月）



※09年の金保有高は、中国が9月、ロシアが10月、インドが11月の実績値。
出所：中国・インドはCEIC、ロシアはIMFのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ作成。

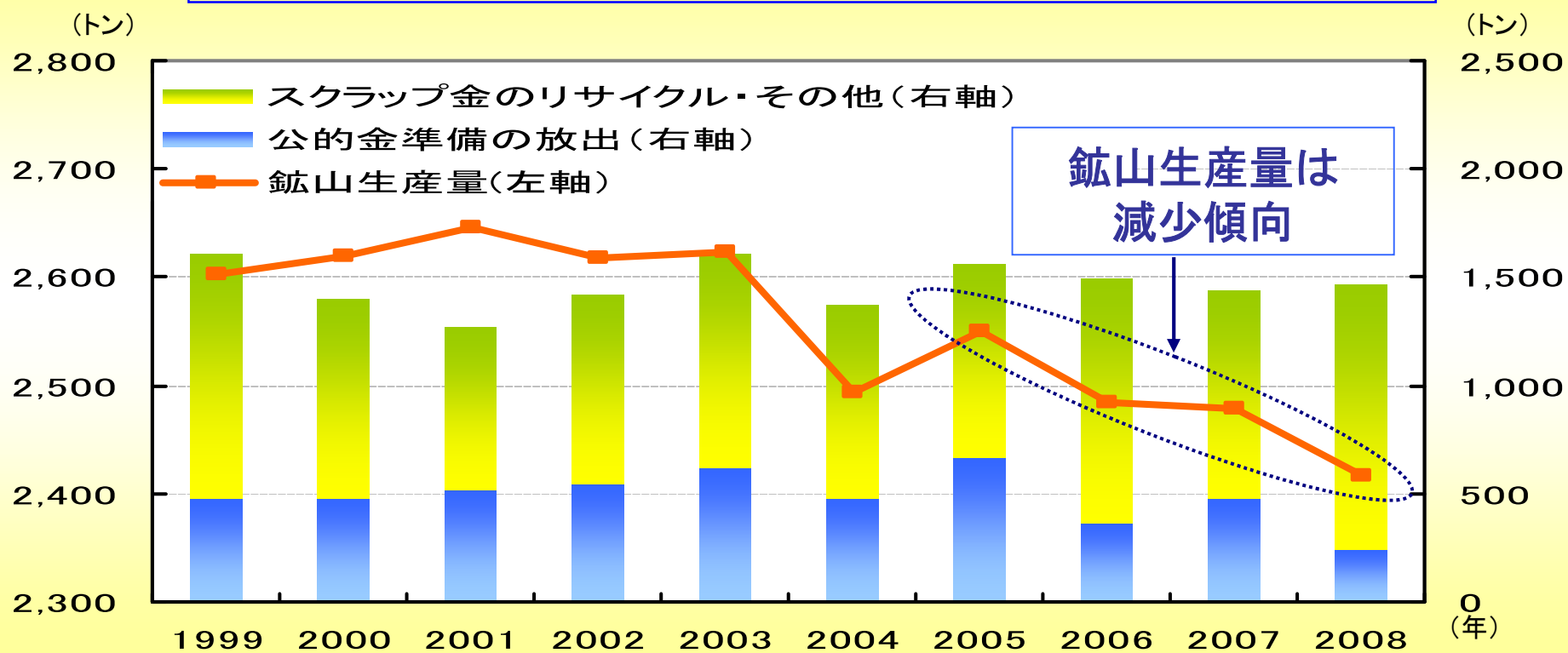
※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

供給への懸念



世界の金供給量の60%以上を占める鉱山生産量は、採掘施設の老朽化や労働コストの上昇などから、減少傾向にあります。

「金」のセクター別供給量の推移(1999年～2008年)



出所：GFMS Gold Survey 2009のデータを基にITCインベストメント・パートナーズ作成。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

当ファンドの特色



- 東京工業品取引所(Tokyo Commodity Exchange、「TOCOM」)に上場している金先物取引に直接投資を行ないます。

「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」は、日々の基準価額の値動きがわが国の金先物取引価格の値動きの2倍程度となる投資成果を目指して運用を行ないます。

「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」は、日々の基準価額の値動きがわが国の金先物取引価格の値動きの2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。

- 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)」は、3本のスイッチング(乗換え)が可能なファンドで構成されています。

- ・「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」

- ・「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」

- ・「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」

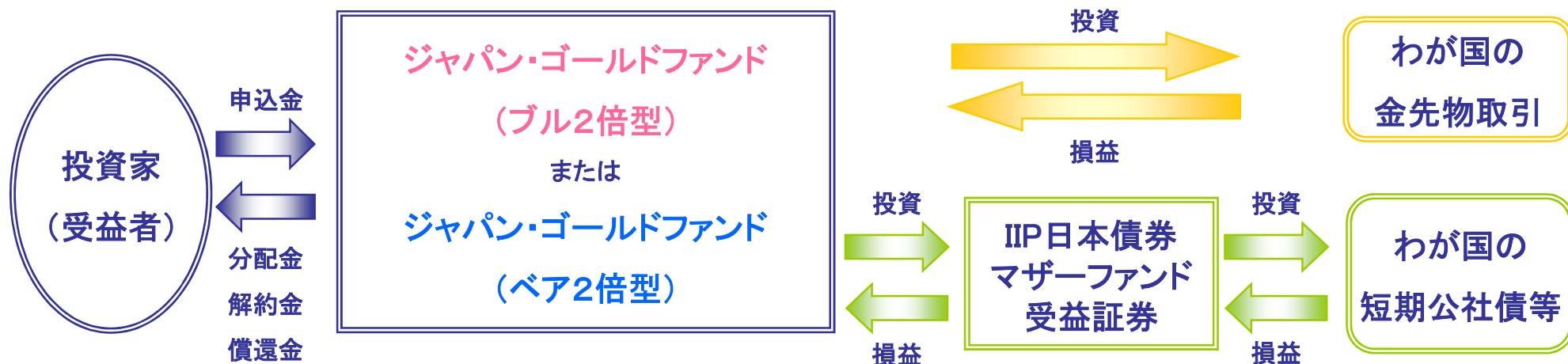
※ 「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」のお買付は、スイッチングによるお買付のみとなります。

- 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の運用の指図に係る権限の一部をアストマックス株式会社(投資顧問会社)に委託します。

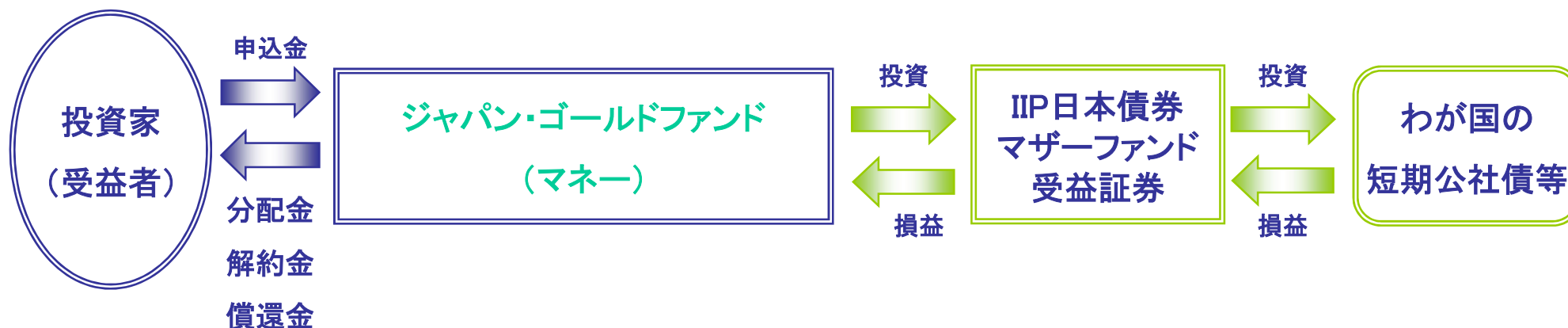
当ファンドの仕組み



■ 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の仕組み



■ 「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」の仕組み

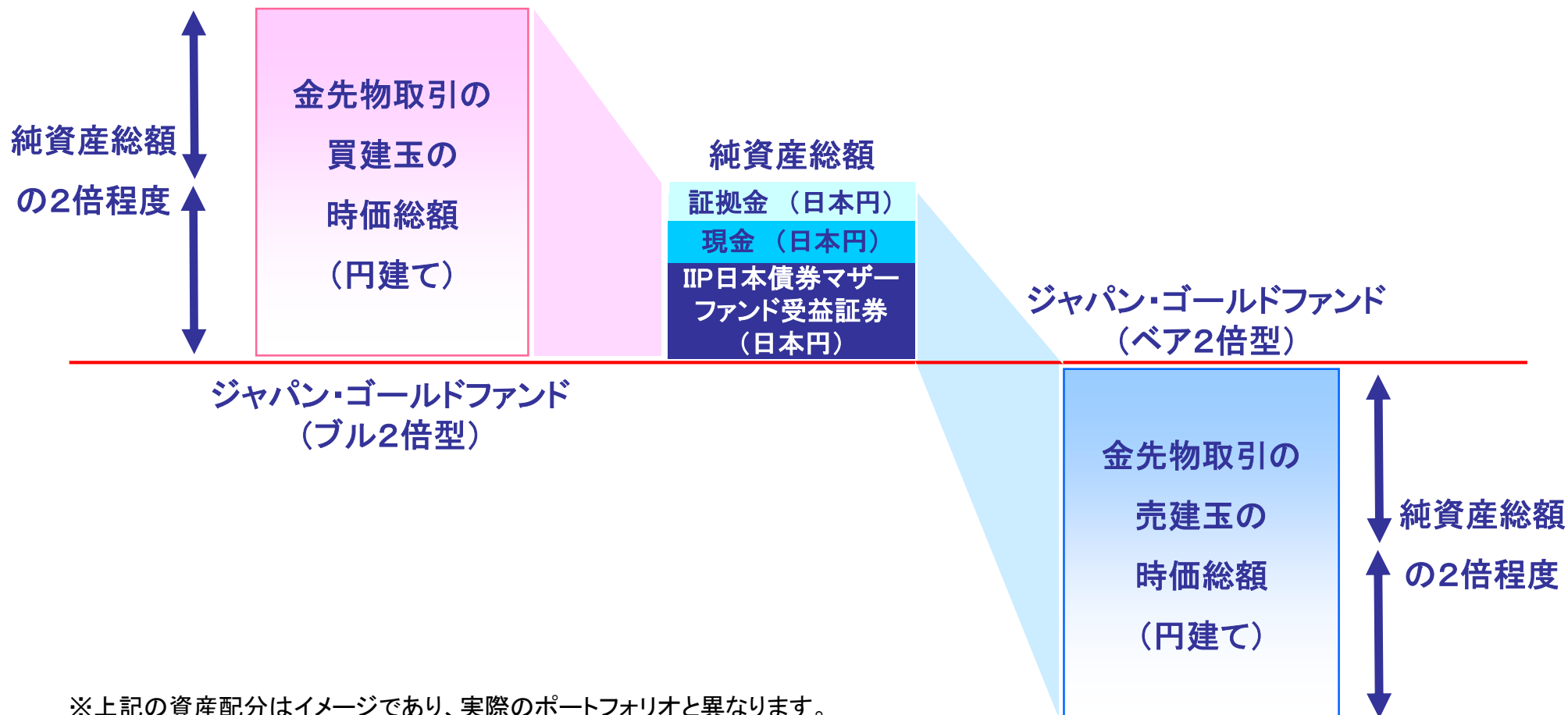


※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

当ファンドの資産配分



■ 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の資産配分のイメージ



※上記の資産配分はイメージであり、実際のポートフォリオと異なります。

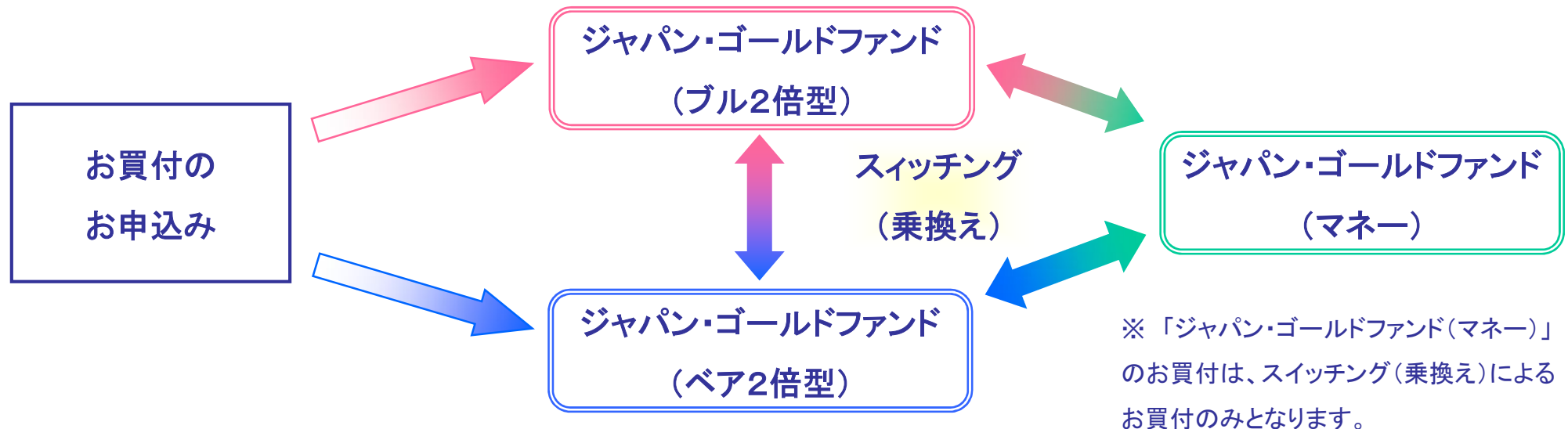
証拠金・・・金先物取引を行なう際には、一定の金額を証拠金として預ける必要があります。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

3本のファンドとスイッチング



■ スwitching(乗換え)



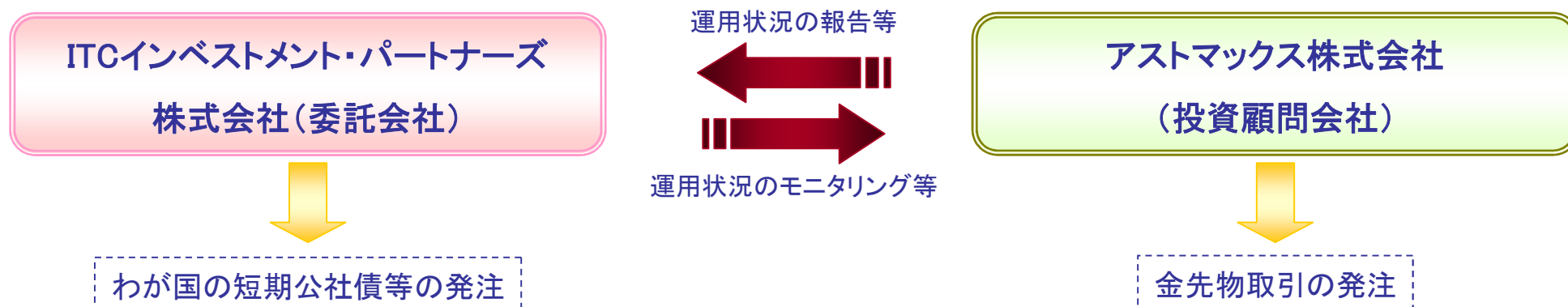
スイッチング(乗換え)・・・「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドを換金し、その換金代金をもって、「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)」を構成する他のファンドのお買付のお申込みを行なうことをいいます。スイッチング(乗換え)に係るスイッチング手数料については、当資料のP19をご覧ください。

運用体制と運用会社



■ 運用体制について

運用の一層の強化・充実を図るため、「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」、「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の運用の指図に係る権限の一部をアストマックス株式会社(投資顧問会社)に委託します。



■ 運用会社について

ITCインベストメント・パートナーズ株式会社

- 総合商社である伊藤忠商事株式会社の子会社です。
- 金融とリアルアセット(商品、不動産などの実物資産)の融合を図り、斬新で魅力的な運用商品・サービスの提供に取り組んでいます。
- 金融商品取引法に基づく承認を得たことにより、商品先物取引に直接投資を行なう投資信託の設定・運用を行なうことが可能になりました。

アストマックス株式会社

- アストマックス株式会社は、1992年に設立され、1994年9月に「商品投資に係る事業の規制に関する法律」(商品ファンド法)に定める許可を取得した日本で最初の商品投資顧問業者(CTA)です。
- 商品市場の専門家として、これまでも独自の商品指数AMCIに連動する運用などで優れた運用成績をあげています。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

基準価額の動きの留意事項について①



■ 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の基準価額の動きの留意事項について①

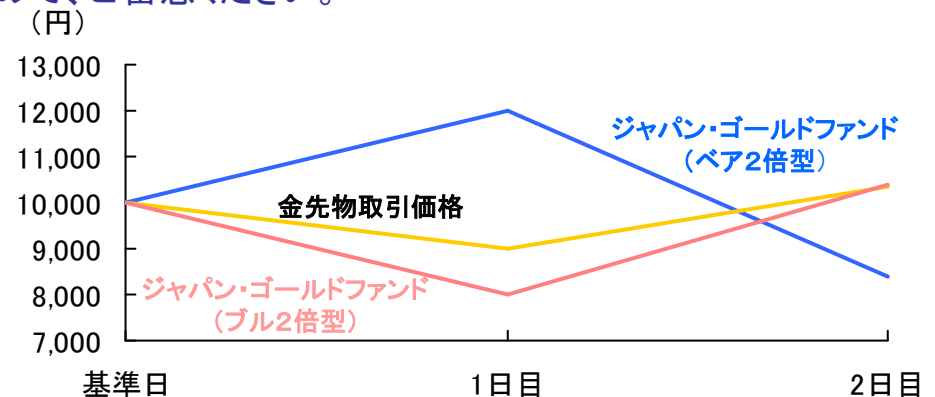
「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」(以下、「ブル2倍型」とします。)は、日々の基準価額の値動きが金先物取引価格の値動きの「2倍程度」、「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」(以下、「ベア2倍型」とします。)は、日々の基準価額の値動きが金先物取引価格の値動きの「2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行ないます。そのため、2日以上保有した場合は、「2倍程度」および「2倍程度反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。

基準価額と金先物取引価格の値動きの例

()は前日比の騰落率

	基準日	1日目	2日目	2日間の騰落率
ジャパン・ゴールドファンド (ブル2倍型)	10,000円	8,000円 (-20%)	10,400円 (+30%)	+4.0%
ジャパン・ゴールドファンド (ベア2倍型)	10,000円	12,000円 (+20%)	8,400円 (-30%)	-16.0%
金先物取引価格	10,000円	9,000円 (-10%)	10,350円 (+15%)	+3.5%

※基準日の金先物取引価格を10,000円としていますが、実際に取引される価格と異なります。



例えば、上の図表のとおり、金先物取引価格が1日目に10%下落し、2日目に15%上昇した場合、運用目標が達成されれば、「ブル2倍型」の基準価額は1日目に20%下落し、2日目には30%上昇します。また、「ベア2倍型」の基準価額は1日目に20%上昇し、2日目には30%下落します。しかし、基準日から2日間の騰落率は、金先物取引価格は3.5%の上昇、「ブル2倍型」は4%の上昇、「ベア2倍型」は16%の下落となります。このように2日以上保有した場合は、「ブル2倍型」は、基準価額の値動きが金先物取引価格の値動きの「2倍程度」、「ベア2倍型」は、基準価額の値動きが金先物取引価格の値動きの「2倍程度反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。特に、金先物取引価格の中長期的な値動きと比較した場合、大きく乖離することとも予想されます。

※上記は、運用目標が日々正確に達成された場合を前提としています。騰落率や価格は、金先物取引価格の値動きと「ブル2倍型」、「ベア2倍型」の基準価額の値動きの関係を示すための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。また、基準日の金先物取引価格を10,000円としていますが、実際に取引される価格と異なります。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

基準価額の動きの留意事項について②



■ 「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」の基準価額の動きの留意事項について②

「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」、「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」は、金先物取引を活用するため、主として以下の要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご注意ください。

- ・設定当初、ポートフォリオの構築に一定の日数を要する場合
- ・運用資金の増減等の対応のために行なった金先物取引の約定価格と終値に差が生じた場合
- ・大幅な変動や急激な変動、流動性の低下などにより先物取引が成立せず、必要な取引数量のうち全部または一部が取引不成立となった場合
- ・金先物取引の最低取引単位の影響
- ・金先物取引のロールオーバー(期近の取引を決済し、期先の取引へ乗換える)時に発生する
売買委託手数料等の負担や限月間の価格差(スプレッド)による影響
- ・売買委託手数料、信託報酬、監査報酬等の負担

上記以外にも、運用目標が達成できない場合があります。なお、市場動向等に急激な変化が生じたときまたは予想されるとき、信託財産を保全するため金先物取引の建玉を縮小もしくは全て決済する場合があります。その場合、基準価額は、金先物取引価格の値動きの影響を受けにくくなること、もしくは受けなくなることが想定されます。

ファンドのリスクについて①



■ 投資リスクについて

当ファンドは、主として公社債等を実質的に投資するとともに、商品先物取引(投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条第10号に規定する商品投資等取引(同号イに掲げるものに限ります。))に係る権利に限ります。以下、同じ。))による運用を行ないますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用により信託財産に生じた利益および損失は、受益者に帰属します。投資家の皆様におかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込みくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

■ 基準価額の主な変動要因について

商品先物取引による運用に伴うリスク(「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」を除きます。)		商品先物の取引価格は、様々な要因(商品の需給関係の変化、天候、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、技術発展等)に基づき変動します(個々の品目により具体的な変動要因は異なります。)。商品先物を買建てている場合、価格が下落すれば損失が発生し、売建てている場合、価格が上昇すれば損失が発生します。当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、短期的または長期的に大きく下落し、投資元本を下回ることがあります。
公社債の価格変動	価格変動リスク	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します(値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。)。当ファンドが実質的に組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
	信用リスク	公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなった場合(債務不履行)、またはできなくなることが予想される場合には、当該公社債の価格は大きく下落します(利息および償還金が支払われず、投資資金を回収できなくなることがあります。)。当ファンドが実質的に組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

ファンドのリスクについて②



その他	解約申込みに伴うリスク	解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため、商品先物の建玉の解消や組入証券の売却を行なわなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては、市場実勢から期待される価格で売却等ができないこともあります。この場合、基準価額にマイナスの影響を及ぼすことが考えられます。
	取引先の信用リスク	コール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。
	ファミリーファンド方式に伴うリスク	ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

■ 換金性等が制限される場合について

- ①商品市場および金融商品取引所等における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、取得・換金の申込みの受付を中止することがあります。換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の換金の申込みを撤回することができます。
- ②「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドの受益権を換金し、その換金代金をもって他の構成ファンドの取得申込みをする場合において、委託会社が当該各ファンドの換金の申込みの受付を中止したときおよび換金の申込みを取消したときには、販売会社は、当該取得申込みの受付の中止、当該取得申込みの取消し、またはその両方を行なうものとします。
- ③「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドの受益権を換金し、その換金代金をもって他の構成ファンドの取得申込みをする場合において、販売会社が当該他の構成ファンドの受益権の取得申込みの受付を中止したときまたは取得申込みを取消したときには、委託会社は、当該換金申込みの受付の中止および換金申込みの取消しを行なうことができます。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

お買付から換金・償還までにかかる主な費用



■ お客様に直接ご負担いただく費用

お買付時の 申込手数料	申込金額に右記の手数料率を乗じて得た額とします。 申込金額： (申込受付日の基準価額／1万口) × 申込口数 (当初1万口＝1万円)
スイッチング (乗換え)手数料	スイッチングによるお買付申込金額に右記の スイッチング手数料率を乗じて得た額とします。 ※「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」へのスイッチングは、 手数料をいたしません。
換金(解約)手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

申込手数料	
お買付時 の申込金額	手数料率 (税込)
5,000万円未満	3.150%
5,000万円以上 5億円未満	1.575%
5億円以上 10億円未満	0.630%
10億円以上	0.315%

スイッチング手数料	
スイッチング時 の申込金額	手数料率 (税込)
5,000万円未満	1.050%
5,000万円以上 5億円未満	0.525%
5億円以上 10億円未満	0.210%
10億円以上	0.105%

■ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	【ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)】【ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)】 純資産総額に対し、年1.9845%(税抜年1.89%)とします。 【ジャパン・ゴールドファンド(マネー)】 純資産総額に対し、年0.945%(税抜年0.9%)を上限とします。
諸費用	法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産に係る監査人、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は純資産総額に対して、 年0.1%を上限とします。
その他の 費用	借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、商品先物や 有価証券売買時の売買委託手数料等 ※「その他の費用」については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

お申込みメモ



ファンド名称	ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型／ベア2倍型／マネー)
当初申込期間	平成22年2月1日～平成22年2月16日
継続申込期間	平成22年2月17日以降
設定日	平成22年2月17日
当初募集上限額	「ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)」と「ジャパン・ゴールドファンド(ベア2倍型)」は400億円とします。 「ジャパン・ゴールドファンド(マネー)」は1000万円とします(当初自己設定)。
信託金限度額	各400億円
信託期間	平成25年2月12日までとします。
決算日	原則として、毎年2月10日を決算日とします。なお、休日の場合は翌営業日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算日に、収益分配方針に基づいて分配を行ないます。ただし、基準価額の水準や市況動向等を勘案して収益の分配を行なわない場合もあります。
お買付申込日	原則として、毎営業日にお申込みいただけます。お申込みの受付は、午後2時30分までとなっています。
お買付価額(1万口当り)	お買付申込日の基準価額(当初1万口＝1万円)とします。
お買付単位	10万円以上1円単位(※)または10万口以上1口単位 ※申込手数料および申込手数料にかかる消費税等相当額を含めて10万円以上1円単位でお申込みいただけます。
換金申込日	原則として、毎営業日にお申込みいただけます。お申込みの受付は、午後2時30分までとなっています。
換金価額	換金の申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い	換金の申込受付日から起算して4営業日目から販売会社でお支払いします。
委託会社	ITCインベストメント・パートナーズ株式会社
投資顧問会社	アストマックス株式会社
受託会社	住友信託銀行株式会社
販売会社	大和証券株式会社

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。